

精華町第3次男女共同参画計画（案）の パブリックコメントの実施結果について

【実施概要】

広く町民から意見を聴取し、計画に反映させるために意見募集を実施しました。

期間：令和6年12月20日～令和7年1月31日

公表：①ホームページ及び精華町公式X（旧ツイッター）

②精華町役場内：人権啓発課、企画調整課

③関係施設等：人権センター、町立図書館、
むくのきセンター、かしのき苑

④計画等に関連する施設：精華町商工会、大和の家、こころく

意見数：2名 延べ14件

番号	頁	意見要旨等	意見に対する町の考え方
1	全頁	イラストばかりでなく、写真も掲載すれば良いのではないのでしょうか。	いただいたご意見を踏まえ、見やすい紙面になる様に写真を掲載します。
2	全頁	使用されているグラフは最新年度のものですか。	3頁図表1人口ピラミッドが令和5年のものになっていましたので、令和6年のものに差し替えます。
3	33	男女共同参画ミニ通信の認知度55.8%→60%は目標が低い様に思いましたが、分母は全アンケート回答者でしょうか？華創を読んでいる人の9割以上には存在を知って読んで頂きたいです。例えば華創読者の中の認知度90%以上等にして、5年の間に認知度が高まらない様であれば、華創の中でも注目して頂けるような工夫をする等してはいかがでしょうか。	分母は全アンケート回答者です。また、目標値についてですが、アンケート対象者である16歳以上の町民人口の5%は約1,500人ですので、目標を現状値より約5%増とする設定は妥当であると考えています。男女共同参画ミニ通信をできるだけ多くの方に見ていただける様、工夫をしていきます。
4	39	女性人材リストとは誰が登録されているのでしょうか。欄外の説明で作られた経緯は理解しましたが、10年以上前に考えられたものであり、現代においては“女性”とわざわざ書かれている方が女性蔑視のような印象を受けます。また、女性人材リストに年に1人以上登録されたとして女性の活躍の場面が増えているのか	女性指導者養成研修に参加された方に確認をし、リストへの登録を行っています。 リスト登録者へは審議会等の委員募集があった際などに呼びかけを行い、審議会等の男女比に差がないようにしています。 精華町の審議会などの女性委員登用

		町民には判らず不透明でピンとこないため、判り易いように書きぶりを改めるかわざわざ項目として女性人材リストを挙げなくても良いと思いました。	割合は30%台を推移している状況です。できるだけ多くの施策に男女の意見を反映させるためには、女性の社会参画が欠かせません。
5	44	審議会などの女性委員登用割合について、男女平等の観点から50%であるべきで、45%以上と同じ意味ではありませんが40～55%という表記にしていかがでしょうか。	目標値に幅を持たせると評価が困難になることから、現状の数値目標でご理解をお願いします。
6	44	公共的活動団体とはどのような団体をさすのか例示頂きたいです。すでに248団体あるという事ですが、活動休止している団体などはないのでしょうか。数を増やすより現在ある団体の活性化を計る・見直しをする方が効果的な場合もあると思いました。	公共的活動団体とは、法人格の有無を問わず、公共公益的な活動を営む団体のことで、社会福祉協議会やNPO法人をはじめ、文化スポーツ団体、環境美化ボランティア団体や福祉ボランティア団体など様々な団体があります。 公共的活動団体については、分かりやすい紙面となる様、計画中に注釈をいれます。 登録団体数は毎年度末に集計しており、計画にある248団体とは令和6年3月末時点において、町が把握している町内で活動中の公共的活動団体数になります。
7	46	ワーク・ライフ・バランスの理想と現実が一致している人の割合は100%を目指すべきであり、現状の39.8%は低すぎると思います。目標値45%以上も低めなので、せめて50%以上にしてはどうでしょうか？	今回のアンケート調査から新設された設問なので、過去の数値との比較はできませんが、理想と現実が一致している人の割合は他の自治体等が実施している同様のアンケートを見ても50%を超えないのが現実です。本計画は10年計画ですが、掲載されている目標値は5年後のものになります。5年後に数値目標の見直しを行いますので、その時に改めて目標値の設定を行います。
8	46	母子手帳アプリ「母子モ」の男性登録者数R5の49人は対象男性何人中の49人だったのかわからないので%に直すか併記にしてほしいです。子育ては母だけのものではなく両親のものであるので、母子	母子モは登録者の制限はなく、どなたでも登録することが可能であるため、割合で表すことができません。多くの男性に子育ての情報を伝えていけるよう、引き続き妊娠届時や母

		モの男性登録者 90%を目標値としてはいかがでしょうか？	子保健事業等を活用し、周知・啓発を強化していきます。
9	47	育児については男性の参加を促す話をよく聞きますが、介護も男性が出来る支援があれば良いと思います。防災に女性を起用する様に、今まで性別で捉えがちだったところから変えて行くことで性差の無い社会に出来ればと思います。	いただいた意見を担当課と共有させていただきます。
10	48	NP と BP について欄外の説明で“お母さん”とありますが、“お母さん”→“親”に変更して欲しいです。父子家庭もありますし、お母さんが育児というのはアンコンシャスバイアスです。	NP については表記を“親”に変更を行います。BP については、説明にもありますとおり“1 歳に満たない初めての赤ちゃんをお持ちのお母さん”が対象のプログラムになりますので表記変更は行いません。
11	48	18 歳の娘になりたいと言っているので是非子育て地域パートナー養成講座を開催して頂きたいです。	いただいた意見を担当課と共有させていただきます。
12	49	女性指導者養成研修とはどのような研修かよくわかりませんので、具体例を挙げて頂きたいです。 また、子育て地域パートナーやあすなろ会は女性が沢山活動されているのに、年配の方は近年ワードやエクセルを使いこなせず苦勞なさっているのに、年配の女性でも活動しやすくなるようなバックアップを頂ける施策が欲しいです。	具体的な事業については毎年作成する実施計画に記載します。 いただいた意見は担当課と共有させていただきます。
13	49	審議会の会長・副会長の男女比 50%→男女の割合 50%の方がしっくりくると思いました（語句の好みの問題かもしれませんが、比というと 1:1 のイメージです）。	いただいた意見をふまえ審議会の会長・副会長の男女の割合 男女ともに 50%という表現に変更します。
14	55	DV は女性が困っているというバイアスはないでしょうか？ジャニーズ問題などもありましたし、「女性に対する」という文言は外してよいと思いました。	「女性に対する暴力」を「あらゆる暴力」という表現に変更します